

# 上北沢桜並木通信 第8号

およそ5ヶ月ぶりの通信ですが、この間、7月の総会、桜の診断、他地域訪問、文化祭への参加など、充実した活動を行ってきました。今回の通信では、桜並木の最新診断情報、総会の様子、清掃活動、文化祭、他地域訪問等についてご報告します。

## 桜の現状および診断最新情報

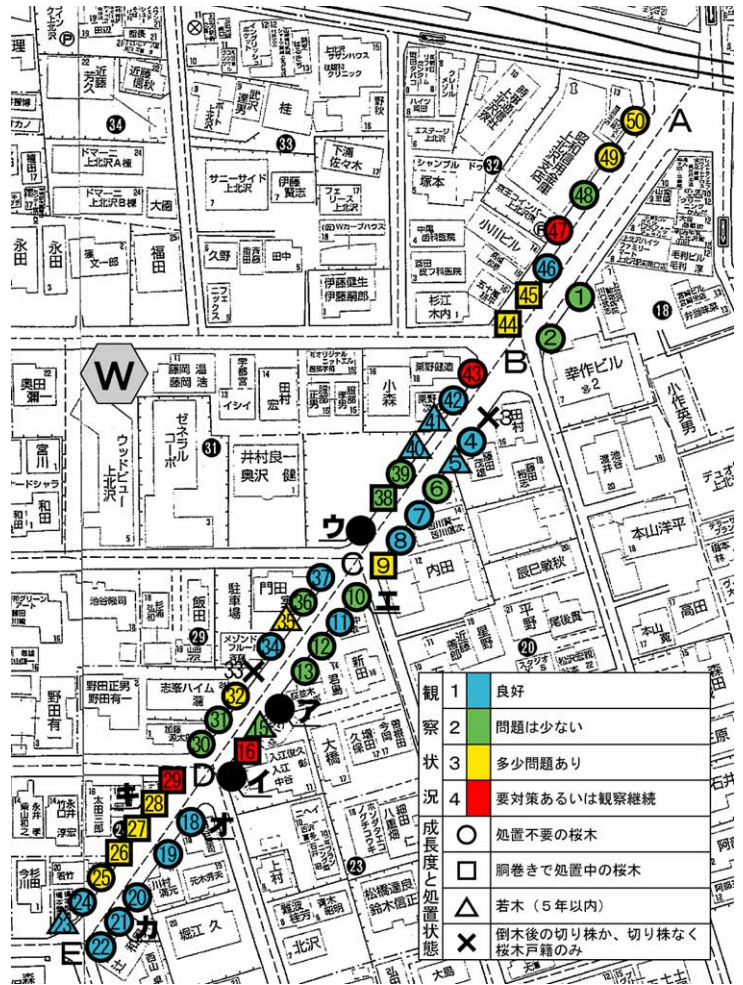
上北沢桜並木の現状の改訂版がまとまりました。右の図は、12月7日現在の、桜並木の桜の状況を調査した内容です。赤と黄色は倒木や枯れるおそれがある木、青は健全な木、緑は現段階では不明な木となっています。

ア〜ウの3本は、新しく植えられた桜です。

エ〜キの4本の桜は、観察の結果、養生効果がみえたので胴巻きをはずしました（キは一部分）。

今後も桜は枯れる場合があります。樹木間隔が狭く、枝がケンカしていたり、他の樹木に対して陽をさえぎったりしていた枯木については、その場所に新しい木を植えることはせず、過去に植わっていた場所などに新しい木を植え直すことで、並木全体の50本を守り、桜並木の再生を進めるよう、世田谷区烏山総合支所土木課と合意しています。（和田和典）

なお、区では、12月8日から来年2月1日までの期間で、桜並木の測量調査を行っています。



ア



イ



ウ

## 上北沢文化祭に参加。桜並木会議の活動をアピール！

11月5、6日に上北沢文化祭が開催され、桜並木会議も昨年に続いて参加しました。

今年の参加内容は、ロビーにおけるパネルの展示と「上北沢の昔話」のビデオ上映、ホールにおけるビデオの上映、桜並木の現状報告、石井樹木医による講演会です。

パネル展示は一面に上北沢桜並木の現状として、桜木の観察結果や害虫被害などの様子と我々が実施した駆除の方法を写真でわかりやすく説明したものです。もう一方の面は昔の桜並木、上北沢周辺を懐かしい写真をその場所が判る地図入りで示したものです。

桜の現状を知って驚かれたり、観察や保護の必要を切実に感じてもらうことができたことと思います。また、昔の写真からは、昔を思い出していただいて、楽しみいただけたのではないのでしょうか。



上北沢の歴史と桜並木の現状展示

「上北沢の昔話」は、石井昭氏創作の「影絵」がベースとなっています。福音寮の子供達のナレーション入りで上北沢が舞台の身近な題材で、とても情緒があり、文化祭にふさわしい内容でした。余分なことですが、製作スタッフとして自分達の名前が画面に出た時は、福音寮の子供達と共にとっても嬉しかったです。もちろん、子供達もこの上映会にも参加してくれていました。

桜並木の現状報告は佐藤信二郎氏がパワーポイントを使用して、映像で目に訴えたことで皆さんにわかりやすく、インパクトも与えたことでしょうか。

最後の石井誠治氏の「ドクター石井の桜トーク」と題しての講演は、身近な植物の豆知識談義から始まり、桜の葉のルーペによる観察、ポインセチアの蜜の様子、交配のため変わった形の柑橘類を手にして眺めたり、桜の蜜の味見など盛りだくさんの内容で、いつもながらのドクター石井ワールドにぐいぐい引き込まれた楽しい講演でした。当日の朝に、皆で落ち葉掃除の際に履き集めた落ち葉を抱えて、会場の皆さんにお掃除のピーアールまでして頂き感謝の気持ちでいっぱいになりました。



身振り手振りを加えた石井樹木医のお話

今回の文化祭の参加において、桜並木会議の活動の実態、重要性をたくさんの方に感じてもらえたことと思います。（荒井都志子）

## 他地域訪問：くにたち桜守

- 訪問日時： 9月18日（日） PM9：30～
- 訪問地域名： 国立駅前大学通り桜並木
- 訪問先： くにたち桜守 代表 大谷和彦様
- 訪問目的： <くにたち桜守>という市民のボランティアが、行政の力を借りながら桜並木の維持管理を行っています。このほど、樹勢回復対象木となっている4年前の胴巻きを開き、空洞部分に伸びているはずの不定根がいかなる状況かを観察するという調査観察会に参加しました。



### <国立大学通り桜並木>とは？

新東京100景にも選ばれており、国立駅から南に約2km、幅44mほどの大学通りで、町のメインストリートになっています。道の両側にあるグリーンベルトには、桜と銀杏の樹が交互に植えられています。現在の大学通りには桜の総本数は211本と言われ、樹齢約70年に達しています。

### <くにたち桜守>とは？

<春には花のトンネルを毎年変わらず見せていたので、桜があげる微かな悲鳴を聞き分けた人は多くいませんでした>と語る大谷

代表たち数人が、7年前から、根元を踏まれぬよう草花を植え、生垣を作り、トラックの荷台で削られた傷口に殺菌剤を塗布する活動をこつこつとはじめたのがスタートでした。そんな地道な活動が行政を動かし、市民によるボランティア組織『くにたち桜守』が2000年に誕生しました。そして、現在数十年かけて樹勢を回復する活動に取り組んでいます。

### [上北沢桜並木との比較]

- ① 並木の環境は申し分なく広く土壌豊かです。上北沢は「土質」対策の検討が必要と痛感しました。
- ② 樹木は上北沢以上に弱っているものが有ります。22本選定し樹勢回復の対策を実施しています。
- ③ 会員のレベルは高く、年齢層も上北沢より若く、参加者自らが、つるはし、スコップを持ち、穴を掘り、胴巻きを開き、閉じる作業を行い、通常の土を空洞に流し込む作業を行っています。
- ④ 「国立」以外の住民が積極的に活動しています。(財)日本花の会の瀧島義之先生、和田博幸先生、EM研究機構の星野豊先生らの専門家集団があり、強力なアドバイスを行っています。

(佐藤信二郎)



自らの桜木を自らの手で、作り育てる

## 上北沢桜並木会議 第二回総会報告

平成17年7月31日、上北沢区民センターで、上北沢桜並木会議第二回総会が開かれました（参加者約50名）。活動経過報告、会計報告、今年度予算が承認され、つづいて、桜並木の現状報告と石井樹木医の解説・指導、アンケート結果の報告が行われました。最後に出席者全員が活動についての感想を述べ、盛会裡に終了しました。上北沢桜並木会議の活動も、いよいよ2年目に突入です。（古賀純明）



多くの地域の方に集まっていただきました

## 今年も桜並木の清掃活動を行いました

今年も桜並木の清掃活動を行いました。毎週木曜日は午前8時から、日曜日は午前10時から行いました。今年度は清掃活動をよびかけるポスターによって、広く沿道の方々が参加してくださいました。



今年も清掃活動を行いました



子どもたちも清掃に参加しました

## 上北沢の影絵が完成しました

上北沢桜並木会議のメンバーで、キャラクターのデザインを担当していただいている、石井昭氏の影絵が完成し、文化祭で披露されました（2面文化祭の記事参照）。上北沢桜並木会議のホームページでごらんになれます。ぜひアクセスしてみてください。

<http://www.sakuranamiki.org/>

美しい影絵の一コマ



### 上北沢桜並木会議とは？

上北沢の桜並木は、開花時期の美しさもさることながら、季節ごとの変化は見る人の心を癒し、地域にとって誇れる将来に残したい財産となっています。しかし、この桜並木は近年弱りはじめています。この貴重な財産を残すためには、地域のいろいろな人々の意見や知恵を集め、具体的な活動をはじめなければなりません。

上北沢桜並木会議は、並木の維持保全に住民と行政の協働で取り組むとともに、これをきっかけとして地域のまちづくりを考え、「桜を見守るコミュニティ」をつくっていかうという取り組みです。

連絡先: 和田和典 3302-6959 佐藤信二郎 3290-2660